平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月１日

上 場 会 社 名　　トラスコ中山株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9830　　URL http://www.trusco.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）中山　哲也
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営管理本部長　（氏名）藪野　忠久　(TEL) 03-6435-6618

四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日　配当支払開始予定日　平成25年11月18日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第２四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	66,206	4.1	4,043	5.7	4,039	6.1	2,403	11.1
25年３月期第２四半期	63,619	4.5	3,825	10.1	3,808	10.0	2,162	11.6

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	72.89	―
25年３月期第２四半期	65.58	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	100,029	84,085	84.1
25年３月期	100,032	82,283	82.3

（参考）　自己資本　26年３月期第２四半期　84,085百万円　25年３月期　82,283百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	16.50	―	20.50	37.00
26年３月期	―	18.50			
26年３月期(予想)			―	26.00	44.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有
配当予想の修正については、本日（平成25年11月１日）公表しました「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	141,300	6.8	9,800	17.3	9,750	17.3	5,818	20.8	176.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	33,004,372株	25年３月期	33,004,372株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	25,466株	25年３月期	24,680株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	32,979,229株	25年３月期２Ｑ	32,979,991株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……２

（１）経営成績に関する説明……２
（２）財政状態に関する説明……３
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明……４

２．四半期財務諸表……５

（１）四半期貸借対照表……５
（２）四半期損益計算書……７
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書……８
（４）四半期財務諸表に関する注記事項……９
（継続企業の前提に関する注記）……９
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）……９
（セグメント情報等）……９

※ 当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、決算短信発表後、速やかに当社ホームページ（http://www.trusco.co.jp/）に掲載する予定です。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

①当第２四半期累計期間の経営成績

	金額	前年同四半期増減率
売　上　高	66,206百万円	4.1％
営 業 利 益	4,043百万円	5.7％
経 常 利 益	4,039百万円	6.1％
四半期純利益	2,403百万円	11.1％

当第２四半期累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）における我が国経済は、海外景気の下振れがリスクとして残るものの、輸出が持ち直し、各種政策の効果も現れはじめ、大企業を中心に収益が改善したことにより、緩やかな回復の動きが見られました。

国内製造業を中心としたモノづくり現場においては、自動車部品、鉄鋼、化学などの製品出荷額が底堅く推移する中、弱さが残っていた電子部品・デバイスでも増加に向かっているため、全体として緩やかな増加基調で推移しました。また、設備投資についても企業収益の改善を背景に、機械投資、建設投資ともに緩やかに増加しました。

このような環境下で当社は、モノづくり現場で必要とされる“**PRO TOOL**”のニーズを的確に把握し取扱いを拡大するとともに、多様化するお客様に対して即納可能な商品を取り揃えることにより市場における存在価値を高める活動を実施しました。

その結果、当第２四半期累計期間における全体の売上高は662億６百万円（前年同四半期比4.1％増）となりました。

利益面につきましては、総じて利益率の低い冷房用品の売上高が増加した結果、売上総利益率は20.5％（前年同四半期比0.1％減）、売上総利益は４億90百万円増加の135億89百万円（前年同四半期比3.7％増）となりました。

販売費及び一般管理費は、当事業年度末において前事業年度の当期純利益を超えることを条件に、支給を予定している業績連動型賞与及びそれに伴う社会保険料の当第２四半期累計期間の見積額２億17百万円を計上し、賞与引当金繰入額及び福利厚生費が増加した影響等により、95億46百万円（前年同四半期比2.9％増）となりました。なお、当該賞与及び保険料は各セグメントに配分した上で、セグメントごとの利益又は損失の金額を算出しています。

以上の結果により、営業利益は40億43百万円（前年同四半期比5.7％増）、経常利益は40億39百万円（前年同四半期比6.1％増）となり、四半期純利益は24億３百万円（前年同四半期比11.1％増）となりました。

②ルート別売上高の状況

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	
	金　額	構成比
	百万円	%
ファクトリールート	59,908	90.5
ホームセンタールート	5,425	8.2
その他	872	1.3
合計	66,206	100.0

1)ファクトリールート(製造業、建設関連業等向け卸売)

国内製造業における生産活動は、全体的に増加傾向で推移しました。国内設備投資においても、大企業を中心に設備の維持・更新や研究開発の再開・実施などの投資をする動きが見られました。そうした環境下で在庫・物流・電子商取引を含む受発注システムなどの当社に優位性のある機能を活用し、モノづくり現場のニーズに対して正確かつ迅速に商品供給を行うことにより、お客様の利便性向上につながる活動に取り組みました。

その結果、売上高は599億８百万円（前年同四半期比4.1%増）、経常利益は40億46百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

2)ホームセンタールート(ホームセンター向け販売)

プライベート・ブランド商品を含む“**PRO TOOL**”を中心に取扱アイテムの幅広さ等の強みを活かした営業活動を実施しました。また、ホームセンターの継続的な売場面積の増加も商品出荷の増加に寄与しました。

その結果、売上高は54億25百万円（前年同四半期比1.1%増）、経常利益は０百万円（前年同四半期比95.8%減）となりました。

3)その他

当社は、「ファクトリールート」及び「ホームセンタールート」に含まれない通販企業向け販売等を「その他」に含めています。通販企業等へ、当社の物流機能や幅広い取扱いアイテムの浸透を行い、売上拡大を図りました。

その結果、売上高は８億72百万円（前年同四半期比19.6%増）、経常利益は40百万円（前年同四半期比63.2%減）となりました。

なお、業績連動型賞与及びそれに伴う社会保険料の見積額は、各ルートの給与額を基準に配分しており、経常利益に与える影響は、ファクトリールート１億96百万円、ホームセンタールート19百万円、その他２百万円です。

(2)財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前事業年度末に比べ２百万円減少の1,000億29百万円（前事業年度末比0.0%減）となりました。その主な要因は、現金及び預金が５億80百万円、商品が７億74百万円、建設仮勘

定が17億円それぞれ増加し、売掛金が29億48百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前事業年度末に比べ18億４百万円減少の159億44百万円（前事業年度末比10.2%減）となりました。その主な要因は、買掛金が13億31百万円、未払金が７億30百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ18億２百万円増加の840億85百万円（前事業年度末比2.2%増）となりました。その主な要因は、利益剰余金が四半期純利益24億３百万円の計上により増加し、期末配当金６億76百万円の支払により減少したことによるものです。なお、自己資本比率は前事業年度末の82.3%から84.1%となり、前事業年度末に比べ1.8%の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、37億34百万円の収入超過となりました。その主な要因は、税引前四半期純利益39億91百万円、減価償却費８億17百万円、売上債権の減少29億78百万円の収入に対し、たな卸資産の増加７億74百万円、仕入債務の減少13億31百万円、法人税等の支払額16億31百万円の支出となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、24億77百万円の支出超過となりました。その主な要因は、新社屋建設のための工事代金の支払等、有形固定資産の取得による支出21億１百万円、新たな情報分析ツールの構築費等、無形固定資産の取得による支出４億50百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、６億75百万円の支出超過となりました。その主な要因は、前事業年度の利益配当の支払額６億74百万円によるものです。

以上の結果、当第２四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ５億80百万円増加の124億79百万円となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年５月７日発表の数値に変更はありません。

２．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,899	12,479
売掛金	18,723	15,775
商品	20,224	20,999
繰延税金資産	829	810
その他	371	583
貸倒引当金	△10	△1
流動資産合計	52,038	50,647
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	15,482	15,003
工具、器具及び備品（純額）	472	437
土地	25,482	25,652
建設仮勘定	1,974	3,674
その他（純額）	674	622
有形固定資産合計	44,085	45,390
無形固定資産		
ソフトウエア	1,582	1,541
その他	331	638
無形固定資産合計	1,914	2,180
投資その他の資産		
投資有価証券	1,112	1,129
その他	893	690
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	1,994	1,811
固定資産合計	47,994	49,382
資産合計	100,032	100,029

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成25年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,966	9,635
未払金	1,811	1,080
未払費用	151	175
未払法人税等	1,702	1,449
賞与引当金	744	1,121
役員賞与引当金	―	49
その他	193	235
流動負債合計	15,571	13,746
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	219	215
役員退職慰労引当金	166	166
その他	1,791	1,815
固定負債合計	2,177	2,197
負債合計	17,748	15,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,709	4,709
利益剰余金	73,631	75,365
自己株式	△45	△46
株主資本合計	83,318	85,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	216	292
土地再評価差額金	△1,250	△1,257
評価・換算差額等合計	△1,034	△965
純資産合計	82,283	84,085
負債純資産合計	100,032	100,029

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	63,619	66,206
売上原価	50,520	52,616
売上総利益	13,099	13,589
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,354	1,489
役員報酬	129	133
給料及び賞与	3,060	3,150
賞与引当金繰入額	928	1,121
福利厚生費	686	767
通信費	142	140
減価償却費	811	790
借地借家料	238	225
その他	1,920	1,728
販売費及び一般管理費合計	9,274	9,546
営業利益	3,825	4,043
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	9	11
仕入割引	618	611
その他	131	135
営業外収益合計	762	762
営業外費用		
売上割引	684	689
その他	95	76
営業外費用合計	779	766
経常利益	3,808	4,039
特別損失		
固定資産除却損	20	12
減損損失	84	36
投資有価証券評価損	25	－
特別損失合計	129	48
税引前四半期純利益	3,679	3,991
法人税、住民税及び事業税	1,430	1,384
法人税等調整額	85	203
法人税等合計	1,516	1,587
四半期純利益	2,162	2,403

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,679	3,991
減価償却費	838	817
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	△8
受取利息及び受取配当金	△12	△15
有形固定資産除売却損益（△は益）	20	12
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	25	－
減損損失	84	36
売上債権の増減額（△は増加）	3,720	2,978
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,719	△774
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,995	△1,331
未払消費税等の増減額（△は減少）	△98	79
その他	△475	△433
小計	3,057	5,351
利息及び配当金の受取額	12	14
法人税等の支払額	△2,240	△1,631
営業活動によるキャッシュ・フロー	829	3,734
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,349	△2,101
有形固定資産の売却による収入	0	100
無形固定資産の取得による支出	△626	△450
投資有価証券の取得による支出	△5	－
その他	△82	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,064	△2,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△642	△674
財務活動によるキャッシュ・フロー	△643	△675
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,877	580
現金及び現金同等物の期首残高	13,893	11,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,015	12,479

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第２四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第２四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）３	四半期損益計算書計上額（注）４
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,523	5,367	62,890	729	63,619	－	63,619
セグメント利益(注)２	3,676	3	3,679	110	3,789	18	3,808

(注)１　「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２　「セグメント利益」は、経常利益を表示しています。

３　「セグメント利益」の調整額18百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４　「セグメント利益」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。

当第２四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）３	四半期損益計算書計上額（注）４
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計				
売上高							
外部顧客への売上高	59,908	5,425	65,334	872	66,206	－	66,206
セグメント利益又は損失(△)(注)２	4,046	0	4,046	40	4,086	△46	4,039

(注)１　「その他」のセグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２　「セグメント利益又は損失(△)」は、経常利益を表示しています。

３　「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△46百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４　「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。